

～ 健 口 と 輝 く 笑 顔 の た め に ～ ASSOCIATION

歯科衛生だより

発行人／武藤 智美
 発行／公益社団法人 日本歯科衛生士会
 〒169-0072 東京都新宿区大久保2-11-19
 TEL.03(3209)8020 FAX.03(3209)8023
<https://www.jdha.or.jp/>

2026 February vol. **91**

日本歯科衛生学会 第20回学術大会 歯科医療DXで変わる！歯科衛生士の未来 ― 知る、活用する、つながる ―

主催：日本歯科衛生学会／公益社団法人日本歯科衛生士会
 共催：公益社団法人東京都歯科衛生士会
 後援：東京都、品川区、公益社団法人東京都歯科医師会
 公益社団法人東京都品川歯科医師会、公益社団法人東京都荏原歯科医師会

日本歯科衛生学会 第20回学術大会が、令和7年11月2日(日)・3日(月・祝)の2日間、昭和医科大学上條記念館(東京都)において開催されました。会場には1,425名の参加者が訪れ、企業展示には44社が出展しました。

会員による研究発表では、口演発表33題、ポスター発表90題と、多くの演題が発表されました。また、特別講演、教育講演、シンポジウム、都民フォーラムなど、多彩なプログラムも行われ、参加者にとって有意義な研鑽の場となりました。

さらに、オンデマンド配信による日本口腔衛生学会と日本歯科保存学会との共同企画も実施され、研究討論会は11月9日(日)にZoomウェビナーにて開催されました。

本大会はハイブリッド形式で実施され、オンデマンド配信は11月25日(火)から12月25日(木)まで行われ、配信期間の参加登録者を含め、最終的に1,602名の参加となりました。詳細については、第20回学術大会ウェブサイト、日本歯科衛生学会公式Xをご覧ください。



第20回学術大会
ウェブサイト



日本歯科衛生学会
公式X

日本歯科衛生学会 第20回学術大会
 歯科医療で変わる！歯科衛生士の未来 ― 知る、活用する、つながる ―

都民フォーラム 「自分らしく健康を決める力：ヘルスリテラシーを身につける ―情報の活用をめざして―」について

日本歯科衛生学会 第20回学術大会において、都民フォーラムを開催いたしました。聖路加国際大学大学院看護学研究科

講師にお招きしたのは、ヘルスリテラシーの第一人者としてご活躍の中山和弘先生です。

ヘルスリテラシーとは、“健康や医療に関する正しい情報を入手・理解し、適切に活用する力”のことを指します。

ご講演では、まず、情報を「入手」「理解」「評価」し適切に「意思決定」する4ステップのご説明から始まり、情報を評価するポイントとして【か・ち・も・な・い】という5項目を教えてくださいました。

【か・ち・も・な・い】

か：書いたのは誰か、発信しているのは誰か

ち：違う情報と比べたか

も：元ネタ(根拠)は何か

な：何のための情報か

い：いつの情報か

※覚え方：この5つを確認していない情報は「価値もない」

次に、自分らしく決める方法として【お・ち・た・か】という4つのポイントがあるとのこと。

【お・ち・た・か】

お：オプション(選択肢)→選べる選択肢が全てそろっているか確認する

ち：長所→各選択肢の長所を知る

た：短所→各選択肢の短所を知る

か：価値観→各選択肢の長所と短所を比較して、自分にとって何が重要かはっきりさせる

※覚え方：「胸(または腹・臍)におちたか」

いい意味でも、あらゆる情報を手軽に入手できる今、情報に溺れることなく正しい情報を得なければなりません。しかし、「正しい情報の見極め方」を知らなければ、進む方向を見誤ってしまいます。中山先生のお話では、自分の健康を守るためにヘルスリテラシーを高めることが大事であり、情報の取捨選択に気をつけながら自分で意思決定していく方法を知ることができました。

(公益社団法人東京都歯科衛生士会 会長 藤山 美里)



なか やま かず ひろ 教授
 中山 和弘先生

